

施策体系ごとの目標達成状況及びその取り組み

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度	
				目標	実績	2005年度
1 食料等の生産活動及び森林等の多面的機能についての県民の理解と活動の促進	(1)情報の交流	農林水産情報の交流促進	小中学校等における森林環境学習の受講者	目標	年500人	年500人
				実績	年620人	年850人
			☆ 三河材の利用促進の普及啓発	目標	100日/年	100日/年
				実績	80日/年	96日/年
			☆ しんせつネットへのアクセス件数	目標	-	-
				実績	-	-
		食生活に関する知識の普及啓発	栄養成分表示店の指定拡大(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	1,600件	1,900件
				実績	1,547件	1,663件
		ふれあいの場情報の提供	「農・山・海の幸づくりルート」(観光ルート)の開発(累計)	目標	-	1ルート
				実績	-	1ルート
	観光農業、農山漁村の自然、風景、人、食、文化等のデータ登録		目標	-	46件	
			実績	-	63件	
	(2)ふれあいの場づくり	花と緑のある暮らしづくりの推進	花壇コンクールの参加小中学校	目標	年12校	年12校
				実績	年12校	年13校
			学校関係緑化コンクールの参加小中高等学校	目標	毎回1校	毎回1校
				実績	2校	2校
		☆ 産地直売所を核とした交流の促進	交流モデル(累計)	目標	-	-
				実績	-	-
☆ 交通条件の変化に合わせた直売施設の整備		直売施設の整備	目標	-	-	
			実績	-	-	
消費者、生産者等の協働活動の推進		いいともあいちネットワークの拡大(累計)	目標	31会員	32会員	
			実績	32会員	42会員	
地域の森づくりの推進	「愛知万博」を記念した森づくりなどの活動支援(累計)	目標	1グループ	2グループ		
		実績	2グループ	2グループ		

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
年500人	年500人	年500人	年500人	学校訪問授業や間伐体験授業、木工教室を行った。	林業振興課 新城林務課
年614人					
100日/年	100日/年	100日/年	100日/年	「三河材の家」住宅展示会への協力、木材製品の利用促進のため、普及啓発活動を行った。	林業振興課 新城林務課
96日/年					
800件/年	1,600件/年	2,400件/年	2,400件/年	開設した「しんせつネット」で、農林水産業に関する身近な情報を提供した。	農政課
13,423件/年					
2,200件			3,000件	飲食店主並びに関係者へ栄養成分表示の必要性についての研修会を開催すると共に、食生活改善推進員への講習会を開催して普及啓発を行った。	保健所
1,778件					
2ルート	3ルート	4ルート	5ルート	新城市作手地区において、つくで手作り村を拠点に、歴史の小径を歩くルート開発を行った。	農政課
2ルート					
				これまでに登録した風景・自然24件、農林水産物3件、施設15件、伝統文化18件、食1件、加工品2件の合計63件に加え、農林水産物1件、食1件を追加登録した。	農政課
65件					
年12校	年12校	年12校	年12校	新城市立舟着小学校、東陽小学校、開成小学校、設楽町立設楽中学校、田口小学校、津具小学校、名倉小学校、田峯小学校、東栄町立東栄中学校、東栄小学校、東部小学校、豊根村立豊根小学校が参加した。	農政課
年12校					
毎回1校	毎回1校	毎回1校	毎回1校	新城市立菅守小学校が学校関係緑化コンクールに参加し、特選となった。	林業振興課 新城林務課
1校					
1カ所	2カ所	3カ所	4カ所	都市と農山村の交流を図るための交流調査「産地直売所の活性化による都市と農村の交流促進の方向」を参考に交流モデル設置の検討を行った。	農政課
-					
-	1カ所				農政課
-					
34会員	36会員			北設楽郡地域の産地直売所を中心に会員の加入促進をした結果、6会員が加入した。	農政課
48会員					
3グループ	4グループ	5グループ	6グループ	NPO法人森林真剣隊が取り組む、地域の森づくりに協力した。	林業振興課 新城林務課
3グループ					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度		
				目標	実績		
1 食料等の生産活動及び森林等の多面的機能についての県民の理解と活動の促進	(3)県民活動の促進	地域の森づくりの推進 ☆	林業経営講習会の受講者	目標	60人以上/年	60人以上/年	
				実績	62人/年	80人/年	
			☆	定年退職者森林づくり(累計)	目標	-	1カ所
					実績	-	5カ所
			地域住民一体による食と緑を活用した地域づくりの推進	モデル的な地域づくりの取り組み	目標	1地区	
					実績	1地区	
		食育指導者等の育成	「豊かな食と農の伝道者」の育成	目標	21人		
				実績	21人	21人	
		流域森林・林業活性化センターへの支援	森林整備や三河材利用促進のための研修会開催の支援	目標	年1回	年1回	
				実績	年1回	年4回	
		海、川等の清掃活動の支援	漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援	目標	年3カ所	年3カ所	
				実績	年3カ所	年3カ所	
河川や水路の清掃、除草活動への参加者(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標		7.7万人	7.7万人			
	実績		8.3万人	7.5万人			
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(1)食品の安全管理の推進	栽培・飼養管理の適正化	家畜疾病の監視検査の実施(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	2,280頭羽	2,220頭羽	
				実績	5,052頭羽	4,634頭羽	
			農業使用者を対象とした講習会受講者	目標	年1,700人	年1,700人	
				実績	年2,018人	年1,742人	
		農産物環境安全推進マニュアルの策定	農産物環境安全推進マニュアルの導入(累計)	目標	-	-	
				実績	-	-	
		生産情報の提供	トレーサビリティシステムの導入(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	2品目	3品目	
				実績	2品目	2品目	
			農業協同組合生産部会員の生産履歴情報のデータベース化	目標	80%	84%	
				実績	98%	89%	
		食品の表示や安全性の監視・検査の実施	食品の品質表示状況調査の実施	目標	年44店舗	年44店舗	
				実績	44店舗	44店舗	

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
60人以上/年	60人以上/年	60人以上/年	60人以上/年	東三河流域森林・林業活性化センターと連携し、森林所有者を対象とした林業経営講習会を2回開催した。また、森林組合員でない不在村森林所有者に対して、森林整備の働きかけを行った。	林業振興課 新城林務課
45人/年					
2カ所	→			定年退職後、森林整備への従事希望者が増加したため、人材育成の場の提供に協力した。	林業振興課 新城林務課
10カ所					
				「豊かな食と農の伝道者」が小学生を対象に、野菜栽培や郷土食・地元農産物を使った料理作りを指導する活動を支援した。	農業改良普及課
21人					
年1回	年1回	年1回	年1回	「低コスト木材生産システム」の普及のため、設定した7団地での現地講習会に協力した。	林業振興課 新城林務課
年7回					
年3カ所	年3カ所	年3カ所	年3カ所	豊川上漁協、寒狭川上流漁協、大入川漁協の活動を支援した。	農政課
年3カ所					
7.8万人			年8万人	河川愛護活動として、1団体(50人)が黄柳川で、また愛知コミュニティバー推進事業として1団体が豊川(布里)で6,400㎡の除草を行った。	建設事務所
7.7万人					
2,160頭羽			毎年2,000頭羽	家畜疾病(BSE、高病原性鶏インフルエンザ)の監視検査を実施した。	家畜保健衛生所
4,574頭羽					
年1,700人	年1,700人	年1,700人	年1,700人	農協の生産部会員や農産物直売所会員を対象に、農業飛散防止、農業の適正使用を啓発した。	農業改良普及課
年2,024人					
-	2産地	4産地	5産地	マニュアルを導入したミニトマト生産部の生産活動を支援した。トマト部会に導入を啓発し、平成20年度からの取組について合意した。	農業改良普及課
1産地					
3品目			3品目	牛肉及び豚肉に加え、(株)東三河GPセンターに導入された洗卵選別機の稼働により、鶏卵のトレーサビリティシステムがスタートした。	農政課
3品目					
88%	92%	96%	100%	農協などに対して、農畜産物の生産履歴データベース化を推進した。 延べ出荷者数1,816人/延べ記帳者数1,816人(19年10月J A愛知中央会調査、共販部会分)	農政課
100%					
年44店舗	年44店舗	年44店舗	年44店舗	農林水産物の小売店舗44店舗について、年4回(5、7、11、1月)に分けて、直接店舗に向き品質表示基準の遵守状況調査を行った。	農政課
44店舗					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度		
				目標	実績		
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(1)食品の安全管理の推進	食品の表示や安全性の監視・検査の実施	食品表示ウォッチャーの配置	目標	年4人	年4人	
				実績	4人	4人	
	(2)品質や生産性を高める技術の開発・普及とIT化の推進	ハイテク農業の推進	酪農搾乳ロボット等の導入（大規模飼養農家（搾乳牛100頭以上）の導入率）	目標	-	-	
				実績	25%	50%	
				トレーサビリティシステムの導入（目標・実績数値は県庁一括管理）（再掲）	目標	2品目	3品目
					実績	2品目	2品目
			農業協同組合生産部会員の生産履歴情報のデータベース化（再掲）	目標	80%	84%	
				実績	98%	89%	
			☆ 低コスト・省力技術の推進	水稲不耕起V溝直播面積	目標	9ha	11ha
					実績	11.6ha	9.3ha
			☆ 優良種苗、種畜の安定供給	種子更新率の向上（水稲の種子更新率）	目標	50%	50%
					実績	50%	57%
				種子更新率の向上（麦の種子更新率）	目標	100%	100%
					実績	100%	100%
	種子更新率の向上（大豆の種子更新率）	目標		15%	20%		
		実績		0%	4%		
	☆ 八名丸さといも栽培面積	目標		9ha	10ha		
		実績		9ha	6.4ha		
	乳牛の年平均乳量	目標		8,400kg/頭	8,500kg/頭		
		実績		8,315kg/頭	8,535kg/頭		
豚の系統豚利用率	目標	57%	57%				
	実績	80%	100%				
農林水産業の技術的支援	普及情報ネットワークでの情報提供（目標・実績数値は県庁一括管理）	目標	40万件	43万件			
		実績	57万件	130万件			
	技術等の普及推進						

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
年4人	年4人	年4人	年4人	管内で4人（公募2人、市町村推薦2人）を配置した。	農政課
4人					
25%	25%	40%	40%	大規模飼養農家4戸、うち1戸で搾乳ロボット（2007年度公社牧場事業）の導入を支援した。	農政課
50%					
3品目			3品目	牛肉及び豚肉に加え、（株）東三河GPセンターに導入された洗卵選別機の稼働により、鶏卵のトレーサビリティシステムがスタートした。	農政課
3品目					
88%	92%	96%	100%	農協などに対して、農畜産物の生産履歴データベース化を推進した。 延べ出荷者数1,816人 / 延べ記帳者数1,816人（19年10月JA愛知中央会調査、共販部会分）	農政課
100%					
13ha	15ha	17ha	19ha	新城市12.3ha、設楽町0.8ha。 省力化と生産コスト低減、作業分散を目的として、展示場の設置、現地研究会等を開催した。	農政課
13.1ha					
60%	60%	70%	70%	水稲種子購入実績31,720kg（40kg/1ha）面積換算79.3ha/水稲作付面積1,433ha 自家消費米農家が多く、更新率は、55%にとどまった。	農政課
55%					
100%	100%	100%	100%	麦の種子更新を支援した。種子更新率は100%であった。 小麦種子購入実績 390kg（80kg/1ha） 面積換算 4.8ha/麦作付面積4.7ha（水田経営所得安定対策加入面積）	農政課
100%					
20%	25%	25%	30%	大豆種子の更新の指導を行った。 自家消費が大半のため、更新率は15%にとどまった。	農政課
15%					
11ha	12ha	13ha	15ha	八名丸さといも部会を中心に栽培を推進するとともに、系統選抜したメリクロン苗の育成を図った。 しかし、組合員の高齢化等により、栽培面積は6.3haにとどまった。	農政課
6.3ha					
8,600kg/頭	8,700kg/頭	8,800kg/頭	8,900kg/頭	牛乳の生産調整が行われる中で地域の生乳生産枠の確保を支援した。また、飼料高騰対策として自給粗飼料の生産を支援した。しかし、飼料高騰による飼料の品質低下が影響し、乳量は8,311kg/頭にとどまった。	農政課
8,311kg/頭					
71%	71%	75%	75%	養豚繁殖農家4戸（4戸すべて系統豚利用）の系統豚利用率向上を支援した。	農政課
100%					
45万件			年50万件	地域農業、技術・経営に関する情報を提供するとともに、県域で「あぜみち通信」を開設した。	農業改良普及課
141万件					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度	
				目標	実績	
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(2)品質や生産性を高める技術の開発・普及とIT化の推進	農林水産業の技術的支援	(農業：重点普及課題)	目標	年63	年50
				実績	年64	年75
			(林務：重点普及課題)	目標	年15	年15
				実績	年15	年18
	(3)食料等の生産基盤の整備	農業の生産基盤の整備	基幹農道の整備(新規累計)	目標	2.5km	5km
				実績	0.6km	2.8km
		林業・木材産業の基盤整備	高性能林業機械の導入(累計)	目標	-	2台
				実績	-	0台
			林道の整備(累計)	目標	681km	700km
				実績	672km	688km
		林業・木材産業の基盤整備 ☆	低コスト木材生産システムモデル団地の設定	目標	5団地/年	5団地/年
				実績	6団地/年	8団地/年
			高性能林業機械作業班の育成(累計) ☆	目標	2班	3班
				実績	3班	4班
			木材生産性の向上 ☆	目標	5㎡/人・日	5㎡/人・日
				実績	5.5㎡/人・日	4.9㎡/人・日
	不在村森林所有者への施策集団化の促進 ☆	目標	60人/年	60人/年		
		実績	62人/年	80人/年		
		農業の生産基盤の整備(30a区画以上の水田整備)	目標			
			実績	0ha	0ha	
(4)県内産食料等の消費と利用の促進 ☆	消費者等のニーズの把握	いいともあいちネットワークの拡大(再掲)	目標	31会員	32会員	
			実績	32会員	42会員	
	地産地消運動の推進	いいともあいち協調月間の設定	目標	-	4回/年	
			実績	-	4回/年	
	ブランド化の推進	あいちの伝統野菜の産地化	目標	1品種		
			実績	1品種	2品種	

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
年50	年50	年50	年50	市町村、農協、関係農業団体からの要望課題を集約し、普及指導計画の重点課題に位置づけた。	農業改良普及課
年75					
年15	年15	年15	年15	「高度な森林施業技術等の普及指導」「林業経営者等の育成確保」「地域全体での森林整備の促進」「地域全体での木材利用の促進」の課題の中に、年15の目標を掲げ実施した。	林業振興課 新城林務課
年15					
7.5km	10km	12.3km	12.3km	設楽町(名倉～津具間)及び豊田市(小田木町地内の一部)9.7kmの供用を開始した。	建設課
12.5km					
4台	5台	7台	9台	新城森林組合において、スイングヤーダ1台が導入された。	林業振興課 新城林務課
1台					
721km	741km	762km	783km	管内全体で17.8kmを開設した。	林業振興課 新城林務課
706km					
5団地/年	5団地/年	5団地/年	5団地/年	低コスト木材生産システムの普及を図るため、8団地を設定し、実証事業を行った。	林業振興課 新城林務課
8団地/年					
3班	4班	5班	6班	北設楽郡で2班、新城市で2班が育成されている。	林業振興課 新城林務課
4班					
6㎡/人・日	6㎡/人・日	7㎡/人・日	8㎡/人・日	オペレータの作業熟練度がまだ低いため、モデル団地の平均木材生産性は4.9㎡/人・日にとどまった。	林業振興課 新城林務課
4.9㎡/人・日					
60人/年	60人/年	60人/年	60人/年	東三河流域森林・林業活性化センターと連携し、森林所有者を対象とした林業経営講習会を2回開催した。また、森林組合員でない不在村森林所有者に対して、森林整備の働きかけを行った。	林業振興課 新城林務課
172人/年					
	2.9ha	2.9ha	2.9ha	現在、施工中である。	建設課
0ha					
34会員	36会員			北設楽郡地域の産地直売所を中心に会員の加入促進をした結果、6会員が加入した。	農政課
48会員					
4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	5、8、11、1月を強化月間に設定し、のぼり旗・パネル等の啓発資材等を使って積極的にPRした。	農政課
4回/年					
				あいちの伝統野菜に登録された「八名丸さといも」「天狗なす」のブランド化を推進した。	農政課
2品種					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度	
				目標	実績	
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(4)県内産食料等の消費と利用の促進	産地直売の促進	主な産地直売施設の利用者	目標	年36万人	年36万人
				実績	31万人	34万人
			特産品・加工品の開発促進(新規累計)	目標	2品目	3品目
				実績	3品目	3品目
			☆ 梅の加工品目(累計)	目標	9品目	9品目
				実績	10品目	11品目
		地域食材の利用促進	いいともあいち推進店の拡大(累計)	目標	9店	12店
				実績	14店	17店
		花のイベントの開催	花のイベントの参加者(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	36万人	21万人
				実績	31万人	21万人
		三河材の認証制度の整備	三河材の認証制度の整備(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	-	-
				実績	-	-
		三河材の利用促進	三河材の利用量(累計)	目標	40千㎡	42千㎡
				実績	49.1千㎡	48.9千㎡
			☆ 三河材流通加工センターへの出荷量	目標	35千㎡/年	35千㎡/年
				実績	29.7千㎡/年	31.7千㎡/年
			☆ サテライト市場設置(累計)	目標	-	1カ所
				実績	1カ所	2カ所
			☆ 治山・林道事業等での三河材利用量	目標	1,000㎡/年	1,000㎡/年
				実績	988㎡/年	1,013㎡/年
☆ あいくる材の利用	目標		650㎡/年	650㎡/年		
	実績		937㎡/年	596㎡/年		
業務用需要への販路拡大	加工用野菜契約取引産地の拡大	目標	-	-		
		実績	-	-		
海外輸出の推進	輸出品目(目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	-	-		
		実績	1品目	2品目		

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
年36万人	年36万人	年36万人	年36万人	愛知東農業協同組合や地域の直売所を対象に、栽培講習会や出荷に関する指導会を開催し、直売所の充実と産直活動の強化を図った。	農政課
62万人					
3品目	5品目	5品目	6品目	特産品としてエゴマ及びゴゴミの栽培拡大に取り組んだ。 加工品として、巻寿司、かりんとう、あられの3品目を開発した。	農業改良普及課
5品目					
9品目	9品目	10品目	11品目	11品目(梅漬け、梅味噌、梅ジャム、梅そうめん、梅うどん、生梅飴、梅アイス、梅ビューレ、甘露梅、梅ゼリー、うめ~もち)の商品化拡大を推進した。	農政課
11品目					
14店	15店	→		愛知県産農林水産物の販売店として、加入推進をした結果、産地直売所等が9店加入した。	農政課
26店					
21万人	/		21万人	設楽町で第40回山村花き品評会を開催した。 また、市町村及び農協などに対して、花に関する各種イベントを紹介し、参加を呼びかけた。	農政課
19万人					
-	/		整備	環境にやさしい森づくりセミナーの開催に協力するなど、認証制度の普及を行った。	林業振興課 新城林務課
-					
44千㎡	46千㎡	49千㎡	51千㎡	三河材の需要拡大への取り組みを実施することにより、利用量を確保し、供給安定を図った。	林業振興課 新城林務課
53.3千㎡					
35千㎡/年	35千㎡/年	35千㎡/年	35千㎡/年	森林組合や市場関係者等が三河材供給について協議する場を設け、三河材流通加工センターへの出荷を促進した。 なお、住宅着工数の減少から、材価が低迷したことにより、出荷量は伸び悩んだ。	林業振興課 新城林務課
30.5千㎡/年					
1カ所	2カ所	→		設楽町に、1カ所サテライト市場を設置した。	林業振興課 新城林務課
2カ所					
1,000㎡/年	1,000㎡/年	1,000㎡/年	1,000㎡/年	新城設楽農林水産事務所建設課、林業振興課、森林整備課、新城林務課が実施する事業において、三河材の利用促進を図った。	建設課 林業振興課 森林整備課 新城林務課
1,064㎡/年					
650㎡/年	650㎡/年	650㎡/年	650㎡/年	管内で生産される「あいくる材」製品を開発機関へ紹介し、利用拡大を図った。 なお、事業量の減少から利用量は伸び悩んだ。	建設課 林業振興課 森林整備課 新城林務課
539㎡/年					
-	1産地	→		今後の野菜産地のあり方とあわせて、加工用野菜の契約取引について検討した。	農政課
-					
2品目	/		5品目	野菜、果樹等の輸出の可能性について検討した。	農政課
3品目					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度	
				目標	実績	
2 安全で良質な食料等の持続的な生産と供給の確保	(5)担い手の育成等の推進	新規就業者の確保・育成	新規農業就業者の確保	目標	年5人	年5人
				実績	年3人	年4人
		新規就業者の確保・育成	新規林業就業者の確保 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	30人	30人
				実績	31人	26人
		経営体の育成	認定農業者 (累計)	目標	79人	89人
				実績	89人	115人
		女性や高齢者の能力発揮	家族経営協定の締結 (累計)	目標	26件	29件
				実績	37件	47件
			農村女性による起業数 (累計)	目標	21件	24件
				実績	21件	24件
	価格安定制度等への加入促進	価格安定制度加入率 (野菜)	目標	80%	80%	
			実績	72%	71%	
	(6)支援組織の育成強化	地域の特徴を生かした支援組織の育成	地域営農組織活動の支援	目標	1地区	
				実績	1地区	1地区
		農業協同組合等の合併支援	合併後の農業協同組合数 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	21	21
				実績	21	21
			合併後の農業共済組合数	目標	2組合	2組合
				実績	2組合	2組合
合併後の土地改良区数		目標	4団体			
		実績	4団体	4団体		
合併後の森林組合数	目標	8組合	5組合			
	実績	8組合	5組合			
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(1)森林・農地の適正な利用促進	森林整備地域活動支援交付金制度への支援	目標	57,000ha	57,950ha	
			実績	58,431ha	58,583ha	
	担い手等への農地の利用集積と耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消	目標	3ha	10ha	
			実績	10ha	31ha	

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
年5人	年5人	年5人	年5人	就農希望者に対し、新規就農支援組織と連携して、制度資金利用や技術習得研修の実施を支援した。就農林相談会「おいでん北設楽！農林業来てしたら」の開催を支援した。また、新城市の定年退職者を対象に、「しんしる農業倶楽部」を開催した。	農業改良普及課
年9人					
30人			毎年30人	愛知県林業労働力確保支援センターが行う就業相談活動に協力した。 高性能林業機械の活用やゼロ災推進セミナー等の実施による労働環境の改善等を図った。	林業振興課 新城林務課
36人					
105人	125人	145人	167人	市町村、関係者が協力し、生産者への個別指導を行った結果、設楽町の施設野菜・花きなどの生産者が認定された。	農政課 農業改良普及課
127人					
31件	33件	35件	36件	後継者の就農や認定農業者の認定申請等の機会を捉え候補者をリストアップし、個別巡回や研修会により啓発した。	農業改良普及課
53件					
26件	28件	30件	32件	研修会の開催や加工技術指導等を支援した。	農業改良普及課
25件					
80%	80%	80%	80%	主要対象作物の生産部会等を対象に制度への加入を促進した。しかし、価格差から対象外市場への出荷増等により、61%にとどまった。交付予約数量950t/出荷実績1,551t 対象 夏秋トマト、夏秋なす、夏秋キャベツ	農政課
61%					
				新城市の1地区で、集落営農を視察し、地域営農組織活動を支援した。	農業改良普及課
1地区					
20			15	平成14年10月に合併済み。	農政課
20					
1組合				平成19年4月1日に合併済み。	農政課
1組合					
				新城市土地改良区、作手村土地改良区、南方土地改良区、牟呂用水土地改良区が合併済み。	建設課
4団体					
5組合	5組合	5組合	2組合	森林組合への経営基盤の強化を指導する中で、合併を促した。	林業振興課 新城林務課
5組合					
				2007年度の制度一部改正に伴い、市町村に対する説明や森林所有者への施策の働きかけを行い、森林整備地域活動実施協定の締結を促した。	林業振興課 新城林務課
53,354ha					
20ha	40ha	70ha	90ha	菜の花による景観保全、和牛放牧、企業等への貸付などにより、21.9haを解消した。	農政課
21.9ha					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度		
				目標	実績		
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(1)森林・農地の適正な利用促進	担い手等への農地の利用集積と耕作放棄地の解消	農地の流動化面積(累計)	340ha	365ha		
				344ha	431ha		
		中山間地域等直接支払制度への支援	直接支払制度の対象面積	592.7ha	592.7ha		
				526ha	640ha		
		☆ 鳥獣による農作物等の被害防止	効果的な総合防除モデルの作成	目標	-	8モデル	
				実績	7モデル	7モデル	
		(2)自然災害の防止	農地等の自然災害防止	ため池や排水機場の整備	目標	2カ所	4カ所
					実績	2カ所	4カ所
				ため池や水路の環境整備	目標	-	1カ所
					実績	-	0カ所
	ため池や水路の利活用に対する支援		目標	-	-		
			実績	-	-		
	山地災害の防止		治山施設の整備(累計)	目標	192ha	384ha	
				実績	181ha	364ha	
			保安林(民有林)の配備面積(累計)	目標	21,587ha	21,622ha	
				実績	22,193ha	22,612ha	
		☆ 治山事業による森林整備面積(累計)	目標	720ha	1,440ha		
			実績	657ha	1,413ha		
	☆ 水源地域整備(累計)	目標	4地区	4地区			
		実績	4地区	5地区			
森林整備の推進	間伐の実施	年	2,420ha	2,420ha			
		実績	1,761ha	2,256ha			
	☆ 人工林施業調査(累計)	目標	4,021ha	45,440ha			
		実績	5,597ha	66,274ha			
生態系や景観に配慮した親水空間等の整備	ため池や水路の環境整備(再掲)	目標	-	1カ所			
		実績	-	0カ所			

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
390ha	430ha	475ha	520ha	賃借権の設定、使用貸借などで424haの集積が行われた、	農政課
424ha					
592.7ha	592.7ha	592.7ha	592.7ha	新城市作手地区において、緩傾斜地における取り組みが増加したことにより656haが対象となった。	農政課
656ha					
8モデル	8モデル	8モデル	8モデル	新城・北設広域鳥獣害対策協議会の主催により、先進地視察を行った。 共同電気柵・金網柵の設置、和牛放牧などにより、獣害防止を図った。	農政課
7モデル					
				目標4カ所(滝沢、西堤、日焼、重川)が整備済み。	建設課
4カ所					
				整備のため施工中である。(重川)	建設課
0カ所					
1地区				現在、調整中である。	建設課
0地区					
576ha	768ha	960ha	1,150ha	地域住民の生活を守るため、治山施設を効率的に整備した。	森林整備課 新城林務課
559ha					
21,658ha	21,694ha	21,730ha	21,766ha	保安林制度について普及啓発に努め、505haの保安林を指定した。	林業振興課 新城林務課
23,117ha					
2,160ha	2,880ha	3,600ha	4,320ha	手入れの行き届かない、不健全な保安林で間伐等の森林整備を行い、森林の機能の高度な発揮を図った。	森林整備課 新城林務課
2,192ha					
5地区	7地区	7地区	8地区	ダム上流の水源地域や集落の水源となる森林で、治山施設と一体となった森林整備を行った。	森林整備課 新城林務課
6地区					
年 2,420ha	年 2,420ha	年 2,420ha	年 2,420ha	造林事業、治山事業、水源基金事業等により間伐を実施した。	林業振興課 森林整備課 新城林務課
2,324ha					
66,274ha	66,274ha	66,274ha	66,274ha	管内の過去11年分の施業履歴を調査した。	林業振興課 新城林務課
66,274ha					
				整備のため施工中である。(重川)	建設課
0カ所					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度		
				目標	実績		
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(3)環境と調和した森林や農地の整備	生態系や景観に配慮した親水空間等の整備	生態系・景観に配慮した河川の改修整備 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	82km	88km		
			地域住民による川岸への植樹 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	32km	35km		
			目標	32km	35km		
			実績	34km	35km		
		魚道等の整備	魚道等の設置 (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	3基	5基	
				実績	2基	8基	
			(4)水質の保全活動	集落排水施設の整備	集落排水施設の処理人口 (累計)	0.6万人	0.6万人
					実績	0.6万人	0.6万人
	アユ再生プロジェクトの実施	アユ漁獲量の増大 (目標・実績数値は県庁で一括管理) (2007年度実績値は2006年数値)		230t	230t		
		実績		158t	189t		
	海、川等の清掃活動の支援	漁業者と県民による海や川のクリーンアップ活動の支援 (再掲)	目標	年3か所	年3か所		
			実績	年3か所	年3か所		
		河川や水路の清掃、除草活動への参加者 (目標・実績数値は県庁で一括管理)(再掲)	目標	7.7万人	7.7万人		
			実績	8.3万人	7.5万人		
	(5)環境負荷の低減と資源の循環利用	家畜排せつ物の適正処理	家畜排せつ物処理高度化施設の整備 (累計)	1カ所	2カ所		
			実績	5カ所	5カ所		
農産物環境安全推進マニュアルの策定		農産物環境安全推進マニュアルの導入 (累計) (再掲)	-	-			
		実績	-	-			
エコファーマーの認定		エコファーマーの認定者 (累計)	目標	31人	35人		
			実績	31人	31人		
バイオマスの利活用		バイオマスの利活用 (稲わら)	目標	0.7万t/年	0.7万t/年		
			実績	0.7万t/年	0.6万t/年		
	バイオマスの利活用 (食品製造残さ) (目標・実績数値は県庁で一括管理)(2007年度実績値は2006年数値)	目標	7万t	7.2万t			
		実績	7.6万t	8.0万t			
	バイオマスの利活用 (せん定枝) (目標・実績数値は県庁で一括管理)	目標	1,120t	1,480t			
		実績	974t	1,204t			

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
94km			100km	8河川の改修工事箇所において、魚巣ブロックや環境保全型ブロック、巨石、かごマットを用いた護岸を施工した。	建設事務所
100km					
38km			40km		
35km					
7基			13基	野田川において魚道2基を改築した。	建設事務所
20基					
0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人	新城市塩沢、巴地区を支援した。	建設課
0.7万人					
260t			300t	漁協に対して、冷水病対策のため、稚アユの産地変更及び適期放流を推進した。	農政課
220t					
年3か所	年3か所	年3か所	年3か所	豊川上漁協、寒狭川上流漁協、大入川漁協の活動を支援した。	農政課
年3か所					
7.8万人			8万人	河川愛護活動として、1団体(50人)が黄柳川で、また愛知コミュニティリバー推進事業として1団体が豊川(布里)で6,400㎡の除草を行った。	建設事務所
7.7万人					
3カ所	4カ所			新城市で縦型コンポスト(公社牧場事業)とスクリークレーン攪拌式発酵堆肥舎(山間地営農等振興事業)を整備した。	農政課
7カ所					
-	2産地	4産地	5産地	マニュアルを導入したミニトマト生産部の生産活動を支援した。トマト部会に導入を啓発し、平成20年度からの取組について合意した。	農業改良普及課
1産地					
39人	43人	81人	85人	認定制度の理解促進に向けて取り組みを行った。	農業改良普及課
60人					
0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	0.7万t/年	管内で生産された稲わらは、ほぼすべて利活用されている。 米の生産調整により、生産される稲わらの数量が減少している。	農政課
0.6万t/年					
7.4万t			8万t	県淡水養殖漁協の加工施設から排出される残さによる肥料生産を支援した。	農政課
8.7万t					
1,760t			2,500t	市町村に対して、せん定枝のバイオマス利用に関する調査を実施した。	農政課
1,517t					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

	大項目	中項目	小項目	2005年度	2006年度
3 森林、農地及び漁場の適正な保全	(5)環境負荷の低減と資源の循環利用	農業用使用済プラスチックの再生利用の推進	農業用使用済プラスチックの再生利用率	目標 0%	10%
				実績 0%	0%
		菜の花エコプロジェクトの推進	菜の花エコプロジェクトによる栽培面積の拡大	目標 -	-
				実績 0.1ha	0.3ha
4 農山漁村における定住の促進	(1)農山漁村における就業機会の増大	就業機会の創出	「農・山・海の幸づくりルート」(観光ルート)の開発(累計)(再掲)	目標 -	1ルート
				実績 -	1ルート
			主な産地直売施設の利用者(再掲)	目標 年36万人	年36万人
				実績 年31万人	34万人
		特産品・加工品の開発促進(新規累計)(再掲)	目標 2品目	3品目	
			実績 2品目	3品目	
	(2)生活環境の整備	農山漁村の生活環境整備	集落排水施設の処理人口(累計)(再掲)	目標 0.6万人	0.6万人
				実績 0.6万人	0.6万人
		農山漁村の生活環境整備	林道の整備(累計)(再掲)	目標 681km	700km
				実績 672km	688km
		☆美しく住みよいむらづくり	もみじロードの整備(累計)	目標 3km	5km
				実績 2km	2km
☆	クラインガルテン等の整備	目標 -	-		
		実績 -	-		

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。

2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2007年度の取り組みの概要	担当課
20%	30%	40%	60%	愛知東農協が主体となって、新城市、北設楽郡で回収したが、回収ロットが大きくないと再利用できないため、区域外で処分した。今後は、大規模農協との連携が重要である。	農政課
0%					
0.5ha	0.5ha	1ha		新城設楽地域資源循環推進会議を設置し、菜の花エコプロジェクトの研修、キャラバン実施などの啓発と新城菜の花ネットの活動支援を行った。	農政課
0.5ha					
2ルート	3ルート	4ルート	5ルート	新城市作手地区において、つくで手作り村を拠点に、歴史の小径を歩くルート開発を行った。	農政課
2ルート					
年36万人	年36万人	年36万人	年36万人	愛知東農業協同組合や地域の直売所を対象に、栽培講習会や出荷に関する指導会を開催し、直売所の充実と産直活動の強化を図った。	農政課
62万人					
3品目	5品目	5品目	6品目	特産品としてエゴマ及びコゴムの栽培拡大に取り組んだ。 加工品として、絵巻寿司、かりんとう、あられの3品目を開発した。	農業改良普及課
5品目					
0.7万人	0.7万人	0.8万人	0.8万人	新城市塩沢、巴地区を支援した。	建設課
0.7万人					
721km	741km	762km	783km	管内全体で17.8kmを開設した。	林業振興課 新城林務課
706km					
7km	9km	10km		地元組織が企画したモミジオーナー交流会の開催を支援し、155名のオーナーにより160本のモミジが植樹された。	農業改良普及課 建設課
2.75km					
-	1カ所				農政課
-					

印がついた項目は、新城設楽地域独自に目標を設定した項目です。
平成20年4月に農業改良普及課と新城農業改良普及課は統合しました。